【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】令和4年6月13日(2022.6.13)

【公開番号】特開2022-56419(P2022-56419A)
【公開日】令和4年4月8日(2022.4.8)
【年通号数】公開公報(特許)2022-063
【出願番号】特願2021-158897(P2021-158897)
【国際特許分類】
H04N 19/70(2014.01)
H04N 19/40(2014.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ 19/70
Ｈ０４Ｎ 19/40

【手続補正書】
【提出日】令和4年6月3日(2022.6.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
視覚的メディア・データを処理する方法であって：
フォーマット規則に従って視覚的メディア・データと前記視覚的メディア・データのビットストリームとの間の変換を実行する段階を含み、
前記フォーマット規則は、従属ランダムアクセスポイント（DRAP）ピクチャーを参照する補足向上情報（SEI）メッセージが前記ビットストリームに含まれることを指定し、
前記フォーマット規則は、さらに、前記SEIメッセージが、前記DRAPピクチャーと同じ符号化層ビデオ・シーケンス（CLVS）内にあるイントラランダムアクセスポイント（IRAP）ピクチャーまたは従属ランダムアクセスポイント（DRAP）ピクチャーの数を示す構文要素を含むことを指定する、
方法。
【請求項２】
前記IRAPピクチャーまたは前記DRAPピクチャーが、前記DRAPピクチャーの参照ピクチャー・リストのアクティブなエントリーに含まれることが許容される、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記構文要素は、3ビットを使用する符号なし整数であるu(3)として、または指数ゴロム符号を使用する符号なし整数であるu(v)としてコーディングされる、請求項１または２に記載の方法。
【請求項４】
前記フォーマット規則は、さらに、前記SEIメッセージが、前記DRAPピクチャーと同じ符号化層ビデオ・シーケンス（CLVS）内にある前記IRAPピクチャーまたは前記DRAPピクチャーについてのランダムアクセスポイント（RAP）ピクチャー識別子のリストを含むことを指定する、請求項１ないし３のうちいずれか一項に記載の方法。
【請求項５】
前記IRAPピクチャーまたは前記DRAPピクチャーが、前記DRAPピクチャーの参照ピクチャー・リストのアクティブなエントリーに含まれることが許容される、請求項４に記載

の方法。
【請求項６】
前記RAPピクチャー識別子の前記リストのそれぞれは、前記SEIメッセージに関連付けられた前記DRAPピクチャーについてのRAPピクチャー識別子と同じようにコーディングされる、請求項４または５に記載の方法。
【請求項７】
前記リストの識別子が、i番目のRAPピクチャーに対応する値を有し、iは0以上であり、前記RAPピクチャー識別子の値は、iの値の昇順で増加する、請求項４ないし６のうちいずれか一項に記載の方法。
【請求項８】
前記リストのそれぞれは、i番目のDRAPピクチャー識別子の値と、1）iが0より大きいとして(i－1)番目のDRAPまたはIRAPピクチャー識別子の値、または、2）iが0に等しいとして、0、との間のデルタのue(v)を使用してコーディングされる、請求項７に記載の方法。
【請求項９】
前記リストのそれぞれは、RAPピクチャーのピクチャー順カウント（POC）値を表すようにコーディングされる、請求項４または５に記載の方法。
【請求項１０】
前記リストのそれぞれは、前記SEIメッセージに関連するIRAPピクチャーのPOC値に対する、ピクチャー順カウント（POC）デルタ情報を表すようにコーディングされる、請求項４または５に記載の方法。
【請求項１１】
前記リストのそれぞれは、現在のピクチャーのPOC値と、1）iが0より大きいとして(i－1)番目のDRAPまたはIRAPピクチャーのPOC値、または、2）前記SEIメッセージに関連するIRAPピクチャーのPOC値との間のピクチャー順カウント（POC）デルタ情報を表すようコーディングされる、請求項４または５に記載の方法。
【請求項１２】
前記リストは、i番目のRAPピクチャー、j番目のRAPピクチャーに対応する識別子を含み、iはjより小さく、i番目のRAPピクチャーは、デコード順でj番目のRAPピクチャーに先行する、請求項４ないし１１のうちいずれか一項に記載の方法。
【請求項１３】
前記変換の実行が、前記視覚的メディア・データから前記ビットストリームを生成することを含む、請求項１ないし１２のうちいずれか一項に記載の方法。
【請求項１４】
前記変換の実行が、前記ビットストリームから前記視覚的メディア・データを再構成することを含む、請求項１ないし１２のうちいずれか一項に記載の方法。
【請求項１５】
プロセッサと、命令を有する非一時的メモリとを含む、視覚的メディア・データを処理する装置であって、前記命令は、前記プロセッサによる実行の際に、前記プロセッサに：
フォーマット規則に従って視覚的メディア・データと前記視覚的メディア・データのビットストリームとの間の変換を実行させるものであり、
前記フォーマット規則は、従属ランダムアクセスポイント（DRAP）ピクチャーを参照する補足向上情報（SEI）メッセージが前記ビットストリームに含まれることを指定し、
前記フォーマット規則は、さらに、前記SEIメッセージが、前記DRAPピクチャーと同じ符号化層ビデオ・シーケンス（CLVS）内にあるイントラランダムアクセスポイント（IRAP）ピクチャーまたは従属ランダムアクセスポイント（DRAP）ピクチャーの数を示す構文要素を含むことを指定する、
装置。
【請求項１６】
命令を記憶している非一時的なコンピュータ読み取り可能な記憶媒体であって、前記命令

は、プロセッサに：
フォーマット規則に従って視覚的メディア・データと前記視覚的メディア・データのビットストリームとの間の変換を実行させるものであり、
前記フォーマット規則は、従属ランダムアクセスポイント（DRAP）ピクチャーを参照する補足向上情報（SEI）メッセージが前記ビットストリームに含まれることを指定し、
前記フォーマット規則は、さらに、前記SEIメッセージが、前記DRAPピクチャーと同じ符号化層ビデオ・シーケンス（CLVS）内にあるイントラランダムアクセスポイント（IRAP）ピクチャーまたは従属ランダムアクセスポイント（DRAP）ピクチャーの数を示す構文要素を含むことを指定する、
非一時的なコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。
【請求項１７】
視覚的メディア・データ処理装置によって実行される方法によって生成された視覚的メディア・データのビットストリームを記憶する非一時的なコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、前記方法は：
従属ランダムアクセスポイント（DRAP）ピクチャーを参照する補足向上情報（SEI）メッセージが前記ビットストリームに含まれることを判別し；
前記判別に基づいて前記ビットストリームを生成することを含む、
非一時的なコンピュータ読み取り可能な記録媒体。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００２】
技術分野
本特許文献は、ビデオ・エンコード、トランスコードまたはデコードを含むデジタル・ビデオ符号化〔コーディング〕技術に関する。